

令和3年 9月29日
4年 男4名 女7名 計11名

(教材名 「ごんぎつね」 光村図書4年，補助教材 新実南吉作品)

指導を行うにあたって	
- これまで、叙述をもとに登場人物の性格や気持ちを捉えること、繰り返し出てくる言葉に注目して読み取ることを学習してきた。 - 本単元は、場面と場面を結び付けたり比べたりして登場人物の気持ちの変化を捉えながら読み進め、考えたことを話し合う学習を行うのに適している。 - 一人一人の感じ方に違いのあることに気付くために感想を積み重ねながら進めていく。	
単元を通して身に付けたい力	評価規準
○ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすること。 〔知識及び技能〕(1) オ ○ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること。 〔思考力、判断力、表現力等〕 C (1) エ ◎ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。 〔思考力、判断力、表現力等〕 C (1) カ ○ 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする態度。 「学びに向かう力、人間性等」	【知・技】 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語句を豊かにしている。 (1) オ 【思・判・表】 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 (C (1) エ) 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。 (C (1) カ) 【態】 進んで、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。

学習過程		学習課題	評価
見通す	1	新実南吉はどんな人だろう。	
	2	「ごんぎつね」を読んで感じたことを交流しよう。	
	3・4	「ごんぎつね」がどのような物語なのか整理しよう。	
深める・まとめる	5	ごんはどんな気持ちだったのだろう（1場面）	【思・判・表】登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて記述しているかの確認（発言・記述） 【知・技】様子や行動、気持ちや性格を表す語句を適切に使用しているかの確認（記述）
	6	ごんはどんな気持ちだったのだろう（2場面）	
	7	ごんはどんな気持ちだったのだろう（3場面）	
	8	ごんはどんな気持ちだったのだろう（4・5場面）	
	9	兵十はどんな気持ちだったのだろう（6場面）	
	10	ごんがどんな気持ちでうなずいたのか、想像して文章にまとめよう。	
広げる	11 本時	ごんはどんな気持ちでうなずいたのか、考えを交流しよう。 〈短冊を活用した思考の視覚化〉 〈学びを実感する振り返りの設定〉	【思・判・表】友達の感想や考えを聞き、考え方に違いがあることに気付いているかの確認（発言・記述）
	12	新実南吉作品を読んだ感想を交流して楽しもう。	【態】文章を読んで感じたことや考えたことを共有しているかの確認（発言・記述）

4 本時の指導 (11/12 時間)

(1) 目標

文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。

(2) 授業展開や考えを深めるための工夫

- 考えを短冊に書いて黒板に貼ることで、誰がどのような考えなのかを分かりやすくする。
- 振り返りの観点を示して交流することで、本時の目指す姿に近付ける。

(3) 展開

	学習活動	形態	学習内容	評価
導入 5分	1 前時までの学習の流れと 本時の課題を確認する。 ごんはどんな気持ちでう なずいたのか、考えを交流し よう。	全	○ 前時までに読み取ってきたことを確認し、本時の活動を確認する。	
展開 20分	2 短冊に書いた自分の考え を書き、黒板に貼る。 3 友達と考えを交流する。	全 グ	○ 短冊を使って、誰がどのような考えをもっているのかを確認する。〈短冊を活用した思考の視覚化〉 ○ 指定された3～4人のグループで交流する。 ○ 短冊をもとに、自分と考えが同じ人・違う人と考えを交流する。 ○ どうしてそのように考えるのかを、理由を手掛かりにして聞き取る。また、自分との共通点・相違点を確認する。	
終末 20分	4 交流したことを振り返る。 〈子供の記述例〉 ・〇〇さんは自分と同じ考 えだったけれど、□□を理 由として話していた。その ような考え方もできるの だと思った。 ・〇〇さんは自分と考えが 違ったけれど、理由が自分 と同じ部分だった。理由が 同じなのに考えが違うこ ともあるのだと知った。 5 学習の振り返りを行う。 〈子供の記述例〉 ・同じ本を読んだのに、人 によって感じ方が違うのが 面白いと思った。 ・自分と同じ人もいるし、違 う人もいることを知ること ができてよかった。 6 次時の学習の見通しをも つ。	個 全 個 全	○ 話し合って、自分との相違点・納得したこと・納得できなかったこと・自分の考えが変わったこと等を書く。 〈学びを実感する振り返りの設定〉 ○ 本時の学習の振り返りを交流し、友達が考えたことを知る。 【思・判・表】 友達の感想や考えを聞き、考え方に違いがあることに気付いているかの確認（発言・記述） ○ 本を読んで考えを交流することの面白さについて、本時の学習を通して考えたことを書く。 〈学びを実感する振り返りの設定〉 ○ 次時は今まで読みためてきた新実南吉作品の感想を交流する活動を行うことを確認し、どの作品について発表しようか見通しをもつ。	